

活動報告

(2023年9月～12月)

- 9月26日～10月17日 県議会・9月定例会
- 10月 3日 三和区県道整備促進同盟会要望会参加
- 10月18日 県道板倉直江津線改修促進協議会参加
- 10月28日 尾神岳スカイランプリ
2023開会式
参加(吉川区)
- 10月29日 上越市立高士小学校
150周年記念式典
参加(高士地区)
- 11月 1日～11月9日 県議会・決算審査特別委員会
- 11月 3日 かみえちご山里ファン倶楽部
「中ノ俣古道を歩く」参加(中ノ俣)
- 11月11日 日英共同訓練反対集会(かに池交差点)
- 11月16日 県民大運動要請行動集会(新潟市)
- 11月18日 「在来線の存続、地域の振興・発展をめざす地域の会連絡会」の第12回総会に参加(直江津)
- 11月19日 第3回 上越☆農業映画祭(高田世界館)
- 11月19日 当事務所で「秋を楽しむ会」



- 11月19日 十日町民主商工会50年記念祝賀会(十日町市)
- 11月21日 主要地方道新井柿崎線の整備促進の
県庁要請に同行(新潟市)
- 11月22日 県議会・防災脱炭素社会づくり特別委員会
- 11月24日 「ガザに平和を!!緊急行動」
- 12月 3日 戦争はゴメンだ!軍拡と改憲に反対する
市民のつどい(上越市)
- 12月 6日～12月26日 県議会12月定例会
- 12月17日 馬場ひでゆきの県政報告会 in 五智・国府
- 12月17日 矢代川渇水対策協議会設立総会

～略歴～

1964年旧高士村(現上越市)に生まれる、現在59歳
高士小学校、高士中学校、高田高校、東京大学法学部卒
宇都宮健児弁護士に師事
1998年に弁護士登録し、新潟市内で弁護士活動開始
2003年に上越市本町3丁目に弁護士事務所を開設
2008年に友人らと共に高田日活(現高田世界館)の維持保存に奔走
2016年市民連合・上越の共同代表として、市民と野党の共同の先頭に立つ
*趣味は山歩き、TVドラマ鑑賞
*現在、子ども3人(2女1男)は独立し、妻と父母と共に暮らす



お知らせコーナー

集会のお知らせ

下記の日程で県政報告会を予定しております。

【高田地区】

日時:2024年3月16日(土) 13:00～14:30

会場:馬場ひでゆき事務所

お問合せ先:当事務所 025-546-7110

※詳細については現在打合せ中です。今後都合により変更の可能性もありますことご了承ください。

より詳しい活動報告を毎月作成しています

本紙活動報告とは別に月に2回程度「馬場ひでゆきの活動日誌」を発行しています。議会での質問内容や参加した行事の報告など詳しく掲載しております。公式ホームページと公式LINEに掲載しておりますのでぜひご覧ください。紙面をご希望の方は事務所までご連絡ください。



「公式LINE」ご登録お願い

馬場ひでゆき公式ホームページを公開しています。また公式LINEも始めました。ぜひご登録をお願いいたします。

ホーム
ページ→



公式LINEは
こちら



発行: 馬場ひでゆき事務所

新潟県上越市本町3丁目3-3
ダイアパレス高田式番館2階

電話 025-546-7110

FAX 025-546-7666

営業時間 月～金曜

10:00～17:00



【新潟県議会議員・無所属】

馬場ひでゆき

活動報告

vol.2
2024冬号



新年ご挨拶および地震お見舞い

新年のご挨拶とともに、1月1日に発生した能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。この度の地震で、市内各所において被災時の様子や被災状況、今後の不安や要望などたくさんのお話を伺いました。直江津海水浴場、大潟漁港では、津波の直撃を受けて建築資材や備品が破損され、事業継続に不安を覚える方々のお話を聴き、胸を締め付けられました。また、市内では、多くの箇所で石灯籠が損壊、水道管が破裂、内壁が剥がれるなどの被害があり、業者の皆さんが修繕に奔走していることも伺いました。

皆さんのたくさんの声を集め、行政に繋ぎ、災害復興のために尽力いたします。また、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働について反対をしております。この誓いが竜頭蛇尾とならぬよう常に精力的に前に進んでまいります。どうぞ今年もよろしくお願ひ申し上げます。



令和6年能登半島地震 ～上越の被災地視察を経て～

現場視察

被災現場からの報告

1月1日に発生した能登半島地震は、上越地域にも多大な被害を及ぼしました。地震発生後、各被災現場を歩いてみた被災状況を報告します。

屋根瓦の崩落、石灯籠などの破損

写真は屋根瓦が崩落した市内の民家。この他にも高田城址公園の石灯籠が倒れ、民家では灯籠やブロック塀が倒れました。また水道管が破裂し、漏水している被害も多数発生しています。



電磁波で地中を調査する作業開始

直江津港のふ頭でクラックが発生
地盤が軟弱で空洞ができてきている可能性もあり

津波被害

津波が海岸部を直撃しました。直江津海水浴場では、浜茶屋の建築資材や冷蔵庫などの什器が流され、大潟漁港では漁船が転覆、倉庫内の網やモーターも破損し、使用できなくなりました。

市道の復旧
撤去作業が急務



津波が押し寄せた直江津海岸の浜茶屋
地震発生後20分ほどで津波が到達



大潟漁港で漁船が転覆

国道8号線茶屋ヶ原付近の土砂崩れ

土砂崩れによって道路が寸断されました。元旦は、帰省や観光で多くの車両がこの道を通っていたはず。通行車両に被害がなかったというのは偶然ですが、本当によかったです。



急斜面で作業をする特殊重機
ロッククライミングマシーンで
上部の土砂の除去



地震などで寸断される恐れのある
道路がないか確認する必要あり



国道8号線 茶屋ヶ原で土砂崩れが発生
道路が不通に

馬場ひでゆき 6つの約束

- ① みんなの声を政治に活かす
- ② 一人親・子育て世帯の支援
- ③ 病院・医療・介護の充実
- ④ 街をつくるムラを守る
- ⑤ 原発再稼働に反対を貫きます
- ⑥ 大軍拡・大増税ストップ



問題点を明確化

防災対策の検証

今回の地震で真っ先に考えたのは、「柏崎刈羽原発は大丈夫か?」ということでした。そこであらためて災害時の避難について考えてみました。

「避難誘導」に問題はなかったか?

高齢者の方を自宅から外に連れ出すのに手間取ったという話をいろいろなところでお聞きします。福祉や医療施設での避難の取り組みについて検証することが必要です。上越市内の外国人の方々も、サイレンの内容がわからず、また避難所に行っても言葉が通じず苦慮したという話を聞いています。多くの住民の方の話を聞き、避難誘導の問題点を明らかにする必要があります。



「避難道路」は安全か?

茶屋ヶ原で大規模な土砂崩れが起こり、国道8号線が寸断されました。この国道は、原発事故が発生した場合、人命救助や物資輸送を行う緊急指定道路として予定されています。しかし、この国道は海岸線を走り、崖下を通る危険箇所がたくさんあります。土砂崩れの危険性について点検することや迂回道路の確保などが必要です。



また、今回の地震で海岸から妙高方面に向かう国道18号線が一時的にとはいえ避難車両で渋滞になりました。大災害が発生した際の渋滞が発生しないような避難方法を平時から考えておく必要があります。



「屋内退避」は非現実的

国の作成した「原子力災害対策指針」では、原発中心地から5～30キロ圏内の住民は、有事の際、自宅など建物内にとどまる屋内退避を原則とすることを定めています。

しかし、原発事故が地震、津波、火災などとともに発生すれば、住民は安全な場所を求めて少しでも遠くに避難します。屋内退避を呼びかけることは、住民に混乱をもたらすものと思います。



「新たな地震」の発生は?

佐渡周辺やその北方にも今回は活動していない海底活断層がありますし、柏崎刈羽原発の敷地直下には、数多くの断層があります。新たな大地震が発生する可能性はあるのか、科学的な調査が必要です。



私は、2月議会で一般質問に立ちます。皆様からの声を集め、皆さんの代表として、今回の地震災害から考えた問題点を質問していきます。

